

必ずお読みください

Entrage 玄関収納 エントレージ

取扱説明書

NANKO 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意

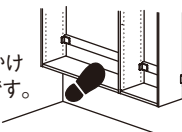


● **製品の上には乗らない。**

棚板の落下や扉の外れなどにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。



製品に足をかけるのも禁止です。



● **ハンガーパイプやスライドハンガーにぶらさがったり、耐荷重の目安以上の重量物を吊るさない。**

ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください）



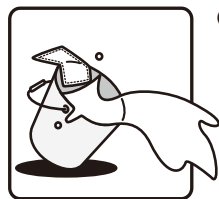
● **樹脂棚板・地板・プッシュラッチ棚板・固定棚板に耐荷重の目安以上の重量物を置かない。**

重量物を置くと棚板が変形・破損したり、落下してけがをするおそれがあります。



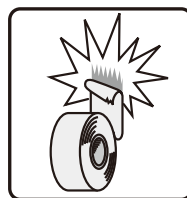
● **耐荷重の目安を必ず守る。**
（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください）

ご使用上のおお願い



● **製品に直接に水をかけない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
※樹脂棚板はとりはずして水洗いできます。（ただし、必ず乾燥させてから取り付けてください。）



● **粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。



● **傘・レインコートなど濡れた状態で収納しない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
必ずよく乾燥させてから収納してください。

お手入れ



● **日常のお手入れ方法**

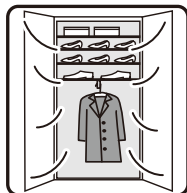
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

● **樹脂棚板のお手入れ方法**

水洗いした後、しっかりと乾燥させる。

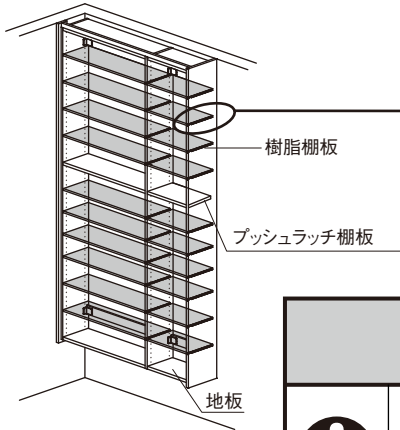


● **換気をする。**

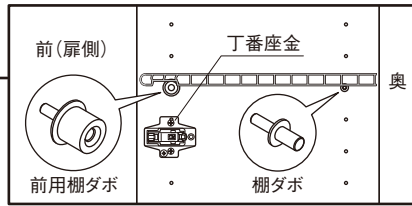
収納内部には湿気がこもりがちになり、結露やカビの発生原因となるため、時々内部の収納物を出し、充分な換気を行なってください。

樹脂棚板の取付方法

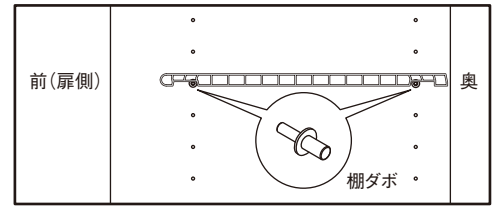
側板・仕切板のシステム穴に棚ダボを取り付けます。



[D245] 前と奥で棚ダボの形状が異なります。



[D365] 前後とも同形状です。



注意



プッシュラッチ棚板や地板の位置を変えたり、取り外したりして使用しない。
樹脂棚板の落下によりけがをするおそれがあります。

ご注意

- D245タイプの扉はスライド丁番と棚ダボの取り付けに同じ列のシステム穴を共用するため、丁番座金の位置を避けて取り付けてください。
- D245タイプの場合、前と奥の棚ダボを間違えないように気をつけてください。前と奥の棚ダボを間違えると樹脂棚板が傾き、フラットな設置ができません。

開戸位置の調整について

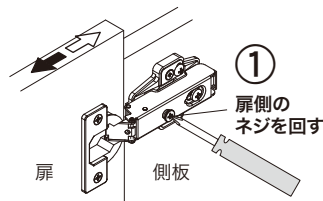
[扉の調整方法]

扉の左右の位置を調節（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回して扉の左右の位置を調整してください。

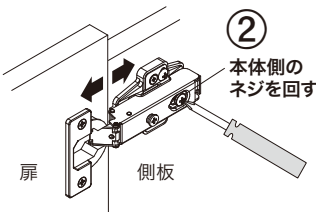
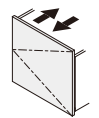
吊元	ネジ①	扉
左側	右回し →	右に動く
	左回し ←	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ←	右に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。



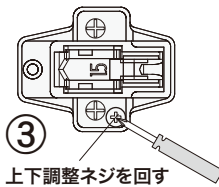
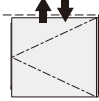
扉とボックスの隙間を調節

②のネジをゆるめ扉を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



扉の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ扉を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。



耐荷重の目安

数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値
地板・プッシュラッチ棚板	30kg
樹脂棚板	3kg
固定棚板	30kg
上吊ハンガーパイプ	30kg ※
スライドハンガー	5kg

パーツ	耐荷重の目安値
6連フック	2kg
傘ラック	2kg
スリッパラック	2kg

収納全体に対する荷重
最大 **180kg** まで

※ ハンガーパイプに物を吊り下げる場合、プッシュラッチ棚板・固定棚板の上に載せる物の重さと合計して30kg以内になるようご注意ください。